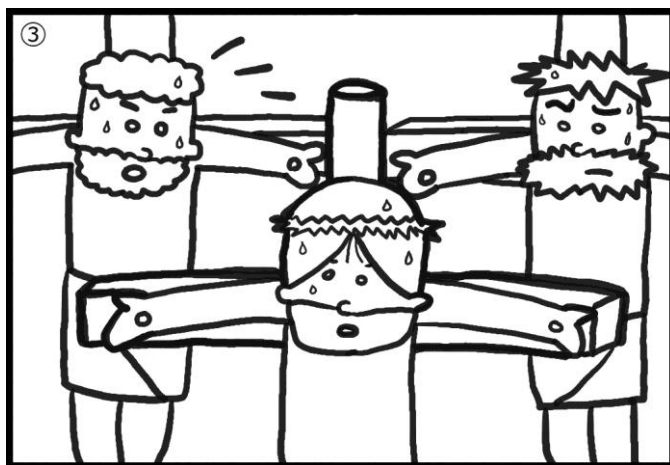
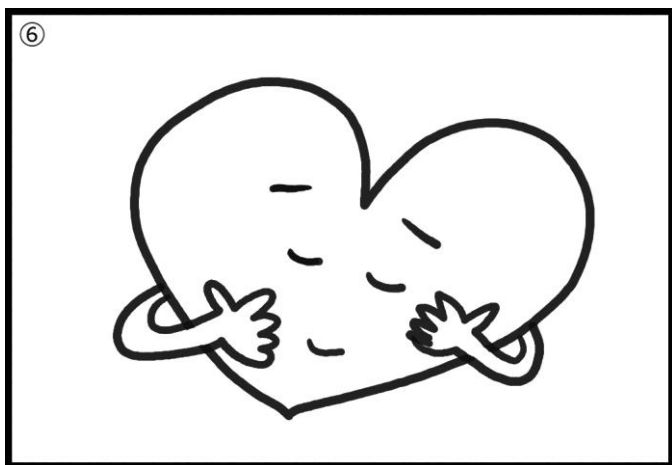
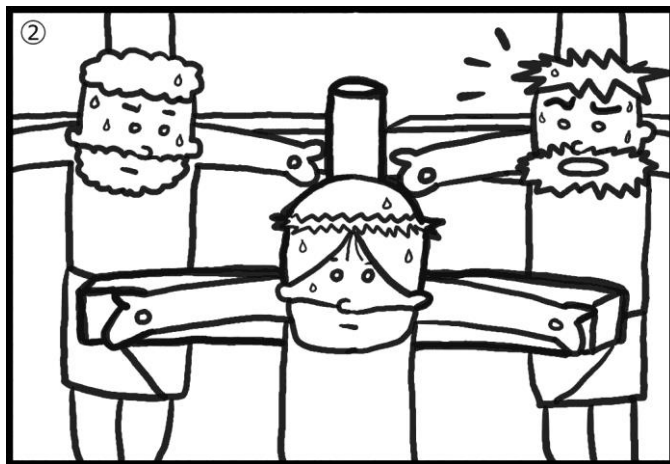
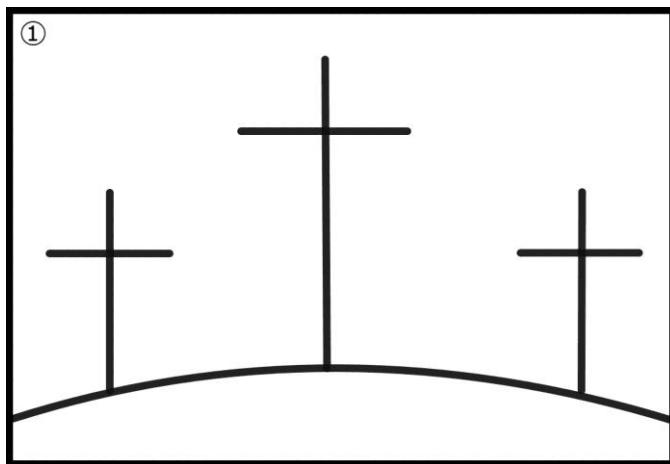
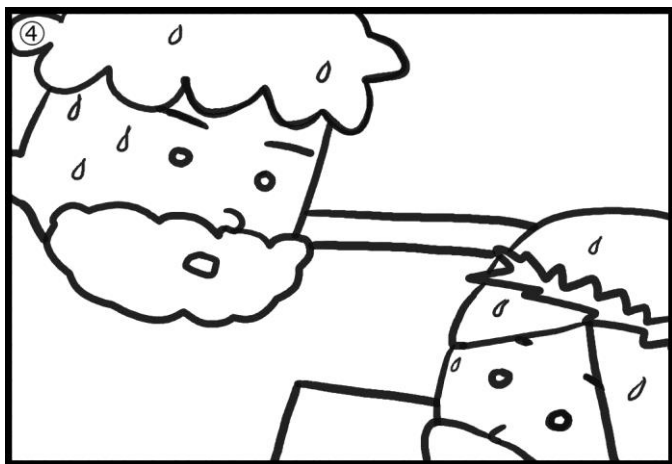


4月3日 「父よ、彼らをおゆるしてください」 ルカ23・32～38

1. イエス様は二人の犯罪人と一緒に十字架につけられました。
2. 「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」
3. 兵士たちは、イエス様の衣を分けるためにくじ引きをしたり、イエス様を^{あざけ}嘲笑ったりしました。
4. 民衆は、立って眺めていました。議員たちは、イエス様をあざ笑いました。
5. 私たちも、神様を嫌がったり、自分のことばかり考えたりしてしまうのではないのでしょうか。
6. イエス様の十字架の苦しみは、私たちが受ける罰の身代わりです。

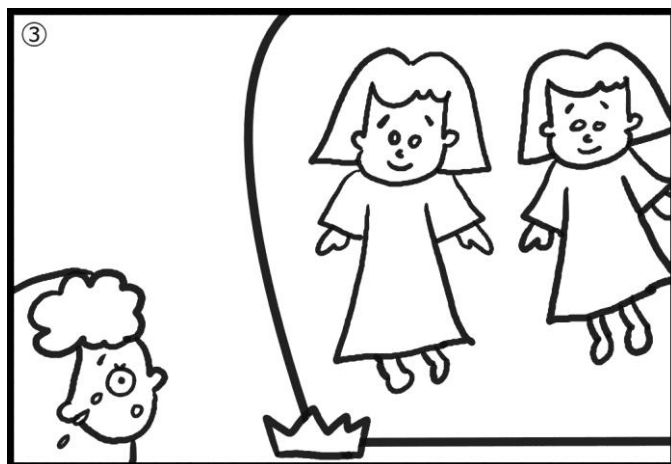
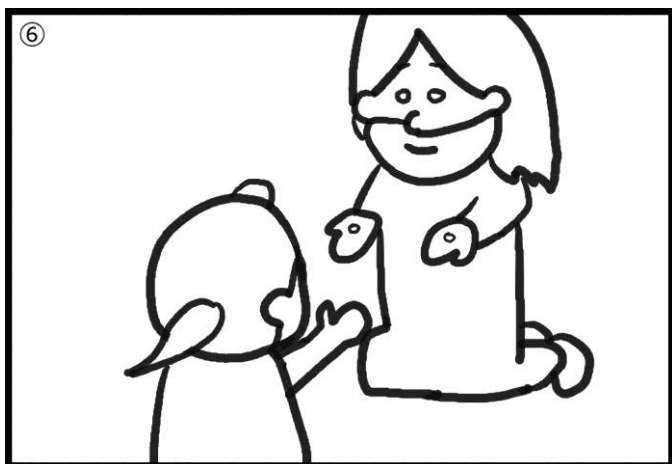
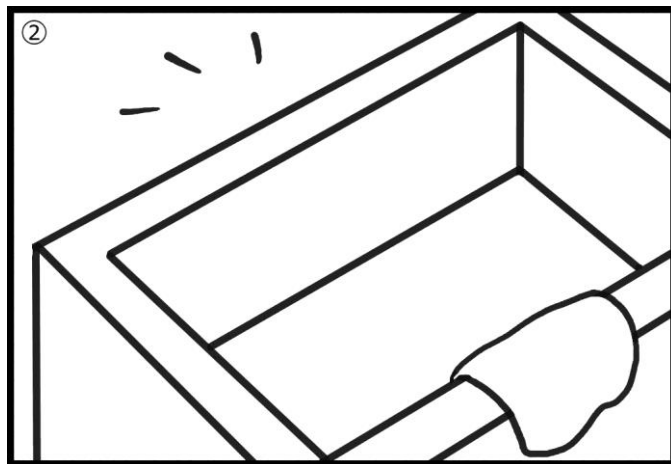
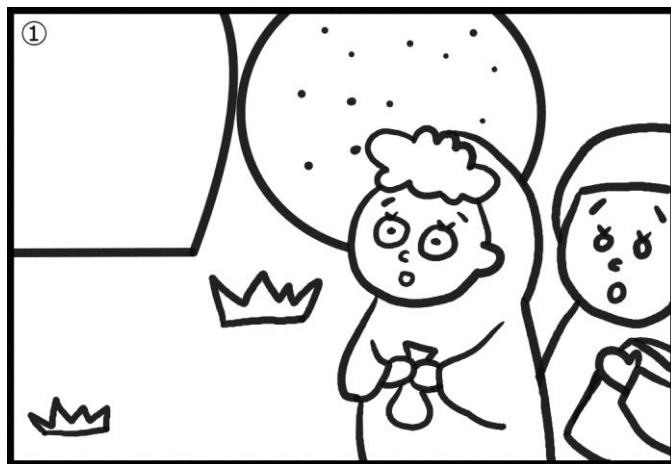
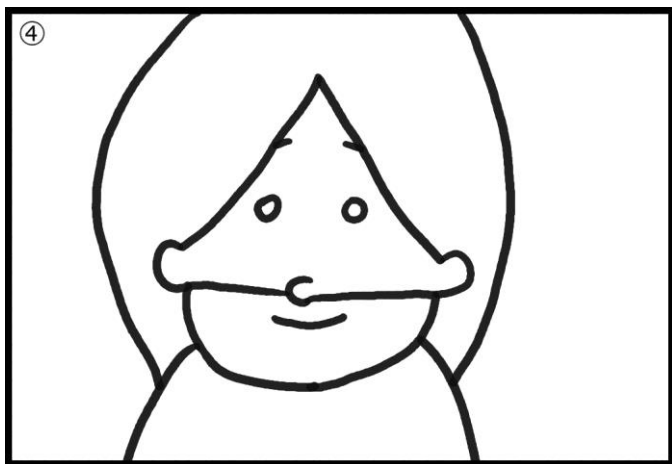
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



4月10日 「十字架の救い」 ルカ23・39～43

1. イエス様は2人の犯罪人と一緒に十字架にかけられました。
2. 犯罪人の一人がイエス様を^{ののし}りました。
3. するともう一方の犯罪人が、イエス様を^{ののし}った犯罪人をたしなめました。
4. そしてイエス様の方を見て、自分を思い出してくださるようお願いしました。
5. イエス様は彼に「わたしとともにパラダイスにいます」とおっしゃいました。
6. 救いとは神様と仲直りをする事です。私たちの心はどのような状態でしょうか。

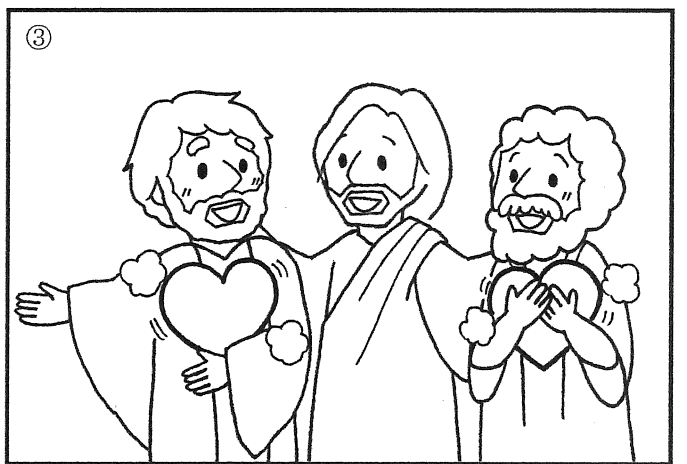
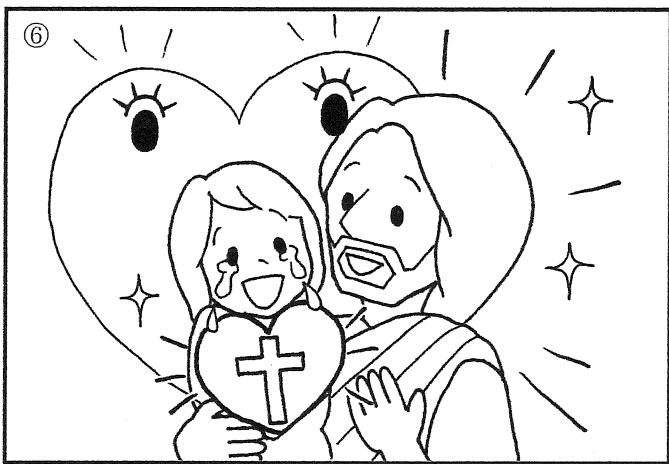
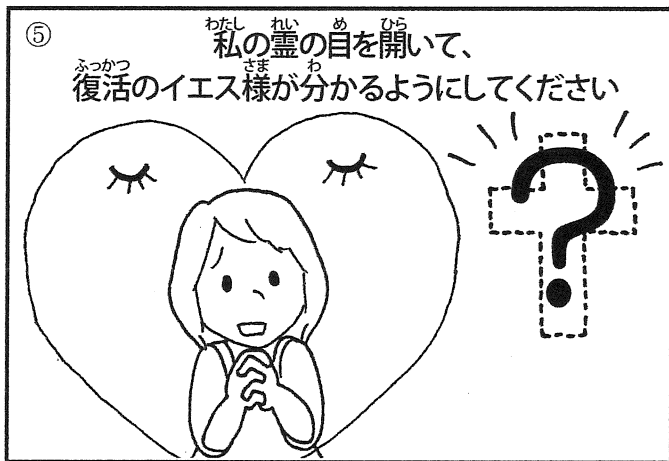
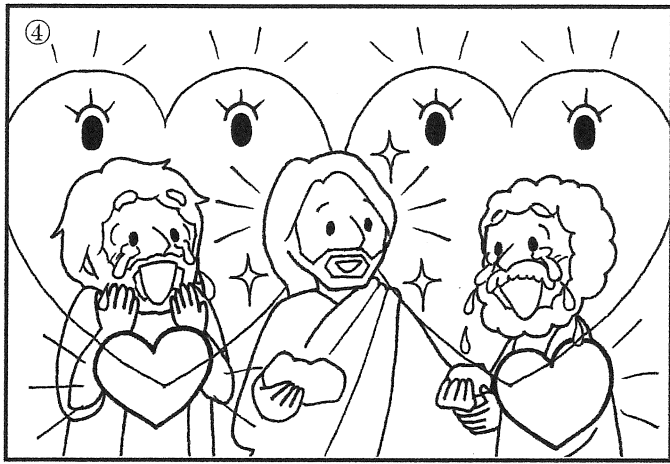
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



4月17日 「よみがえられたキリスト」 ルカ24・1～12

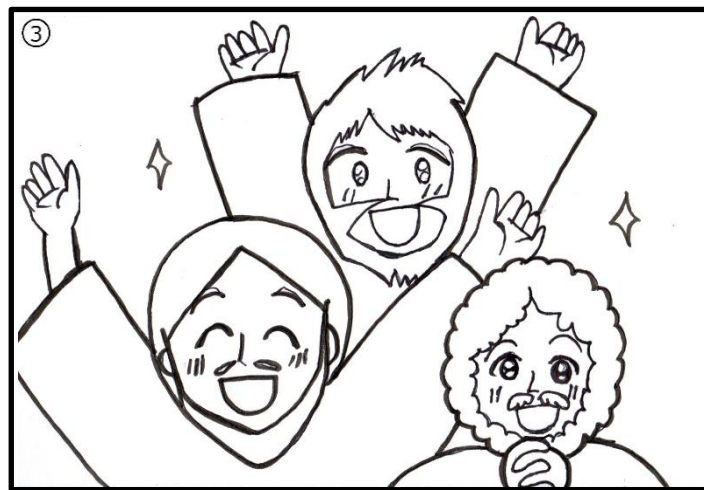
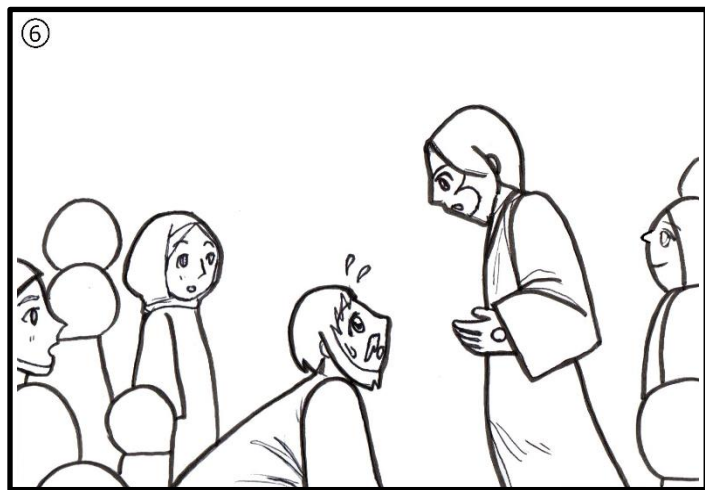
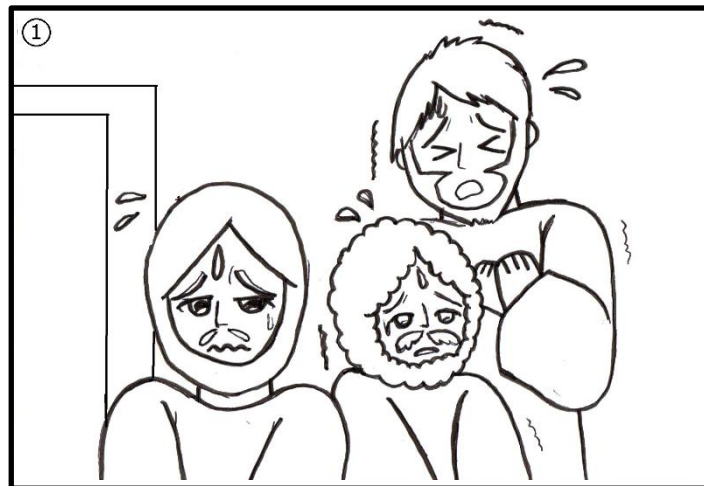
1. 明け方早くに、女性たちがイエス様の墓に行ってみると、墓石がわきに転がされていた。
2. 中に入ると、イエス様のからだは見当たらなかった。
3. 途方に暮れていると、二人の人があらわれ、女性たちに語り掛けた。
4. 二人の人の話を聞いて、イエス様のことばを思い出した。
5. 彼女たちは、墓から戻り、弟子たちにこのことを報告した。
6. イエス様は、今も生きてわたしたちと共にいてくださる。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



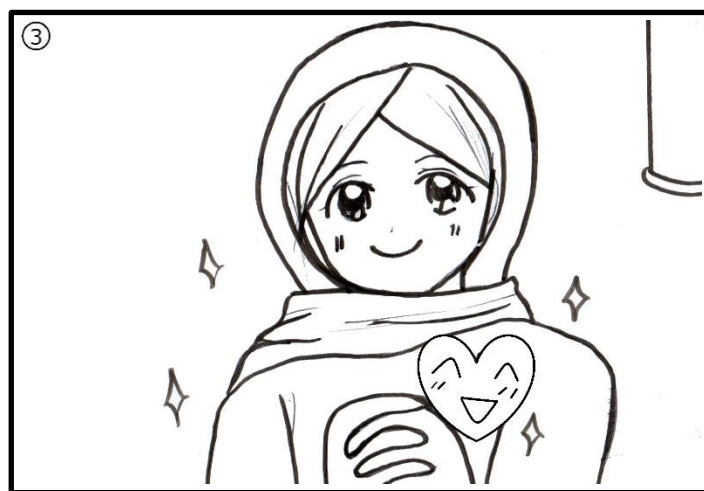
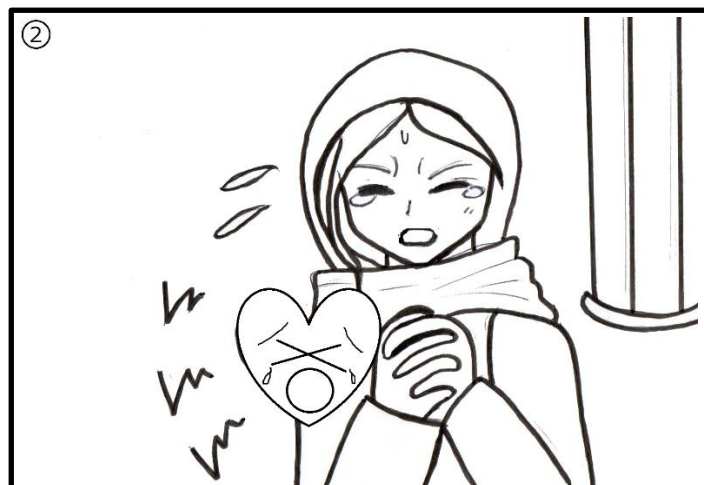
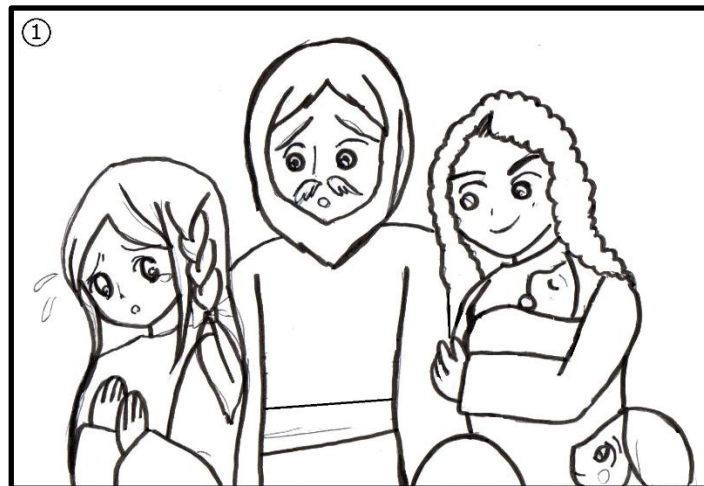
4月24日 「復活のイエス様に出会う」 ルカ24・13～32

1. 死を打ち破り、死から復活されたイエス様。
 2. 二人の弟子たちの前にイエス様が来られたが、二人の弟子たちは霊の目がさえぎられていて、イエス様だと気付かない。
 3. イエス様は、弟子たちに聖書に約束されているご自分のことについて話された。弟子たちは心が燃えてきている。左の弟子はイエス様に「一緒に泊まってください」と言っている。
 4. 弟子たちの霊の目が開かれて、イエス様であることに気づき、喜んでいる。
 5. 復活のイエス様が分からず、祈る女の子。
 6. 霊の目が開かれて、いつも共にいてくださる復活のイエス様に出会うことができ、大きな喜びが与えられた女の子。
- ※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



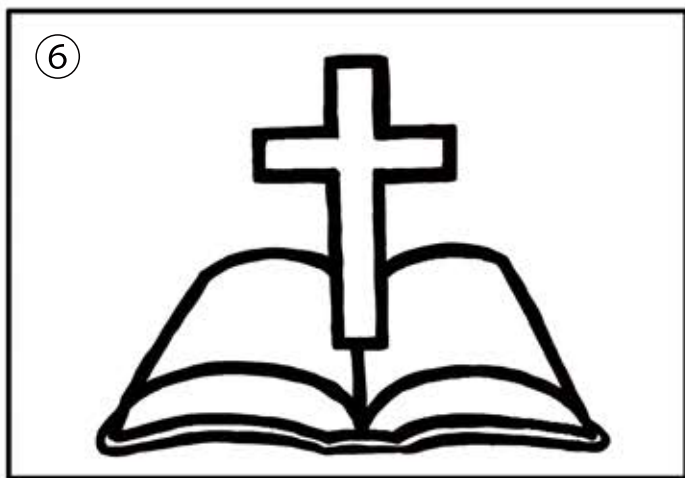
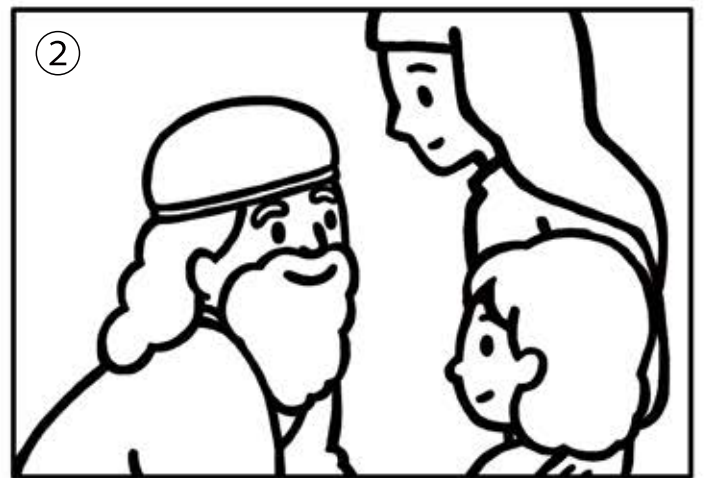
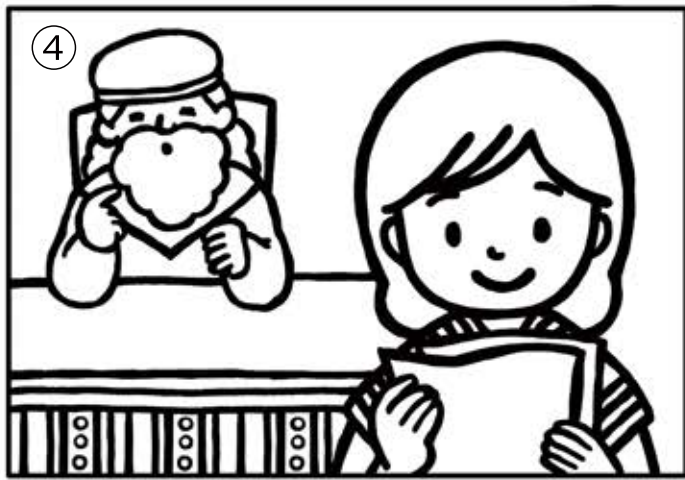
5月1日 見ないで信じる信仰 ヨハネ 20・24～29

1. 十字架にかかって三日目によみがえられたイエス様は、弟子たちによみがえりの姿を現されました。それはイエス様の死んだ後、ユダヤ人を恐れた弟子たちが、一つの部屋に集まってガタガタ震えている時でした。
2. イエス様がスッと部屋に入って来られ、「平安があなたがたにあるように。」と言われました。そして、十字架の釘跡のある手と脇腹を見せられました。
3. 復活されたイエス様を見た弟子たちは、大喜びしました。
4. ところがその時、12弟子の一人のトマスは、たまたまそこに居なかったのです。トマスは全く信じる事ができません。
5. イエス様が、トマスに向かって「トマス、あなたの指をここに当てて、わたしの手を見てごらん。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れて見てごらん。」と言われたのです。
6. トマスは触らなくてもイエス様だと分かりました。すぐ床にひれ伏し、「私の主、私の神よ。」と答えたのです。イエス様は、「トマス、あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」と言われました。



5月8日 ハンナの祈り Iサムエル 1・1～20

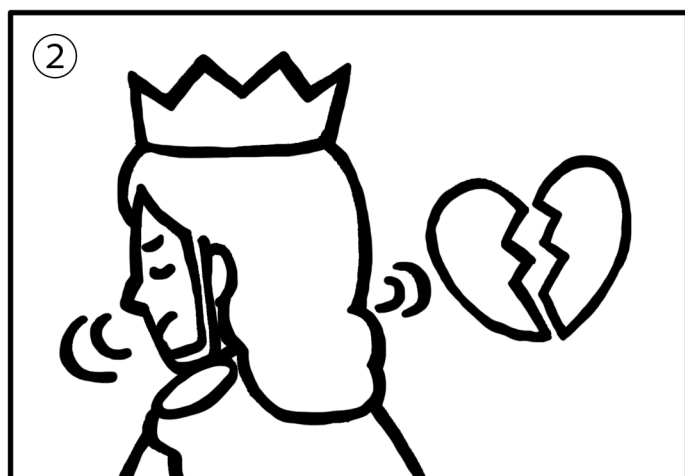
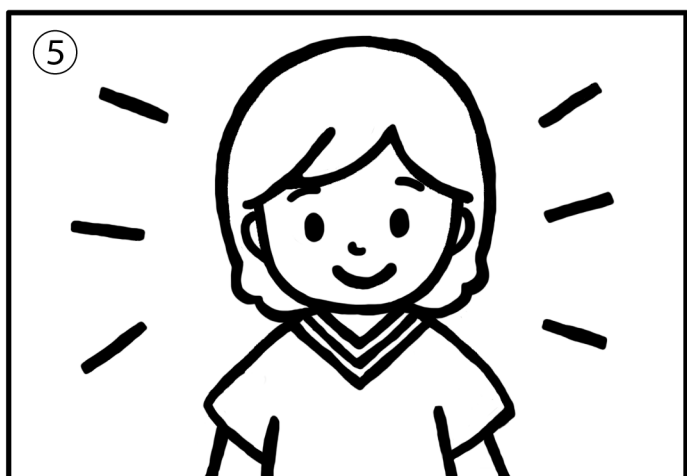
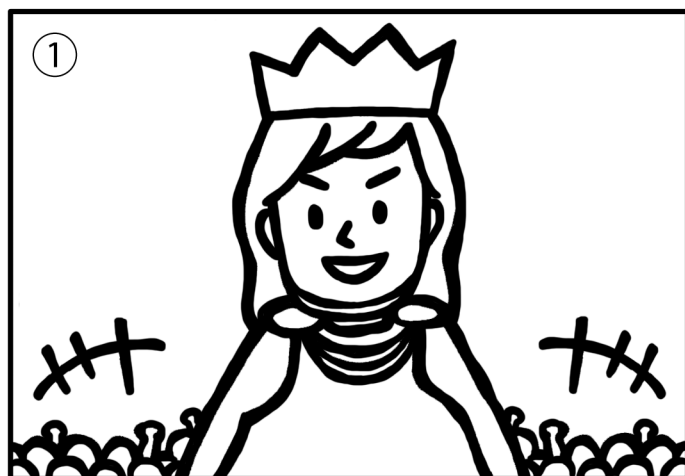
1. ハンナには悩みがありました。子どもが与えられないという悩みです。ペニンナには何人も子どもがいました。ハンナが願っているのは、とにかく子どもが与えられることなのです。
2. ハンナは「募る憂いと苛立ち」に押し出されて、主に向かって泣きながら、心を注ぎ出して祈りました。
3. 祈りの中で、ハンナは神様の不思議な平安が与えられました。自分に子どもが与えられたなら「私はその子を一生の間、主にお渡しします。」と祈ったのです。
4. この時の祭司であったエリは、「安心して行きなさい。イスラエルの神が、あなたの願ったその願いをかなえてくださるように。」ハンナはその言葉の通り、もう思いわずらってはいませんでした。彼女はその祈りによって明らかに変わりました。神様からの平安が与えられたのです。
5. そうしてやがて時が来てハンナの願いは実現し、待望の男の子が生まれるのですが、その子はただの子どもではありませんでした。
6. その子はイスラエルを代表する、偉大な預言者の一人となるのです。



5月15日 幼子サムエル | サムエル3・1～14

1. サムエルはハンナの祈りの結果として誕生した子どもです。
2. サムエルがある程度大きくなった時に、ハンナはサムエルを、神殿で主に仕える者とするために、祭司エリのもとに連れて来ました。
3. エリは祭司として、またイスラエルの指導者として人々から尊敬されていました。ところが、エリの二人の息子は神様に背いて、悪いことを平気で行っていました。
4. サムエルはまだ少年でしたが、エリの後継者として祭司の働きを行っていました。
5. どうしたら神様を知ることができるのでしょうか。それは、神様のことばに聞くことなのです。
6. 神様のことばを聖書で聞くことで、サムエルと同じように神様を知ることができるのです。

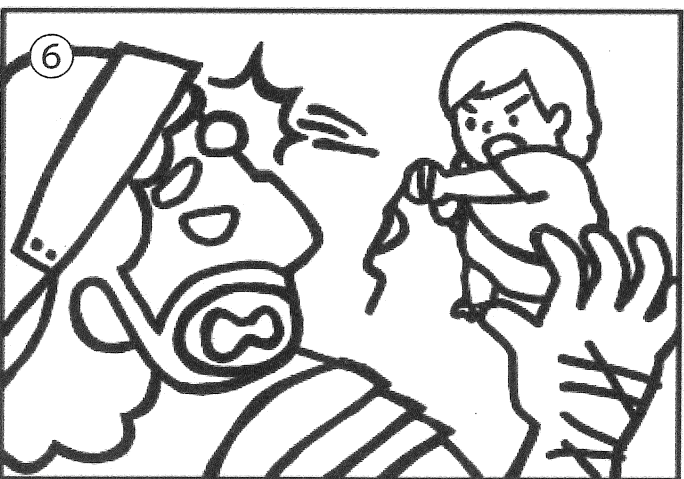
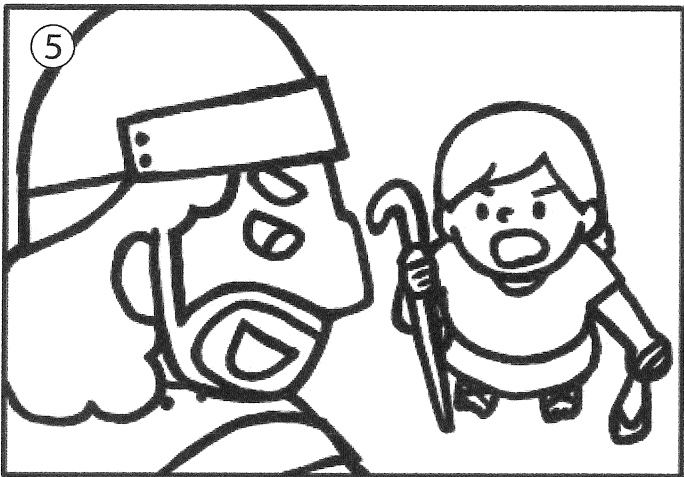
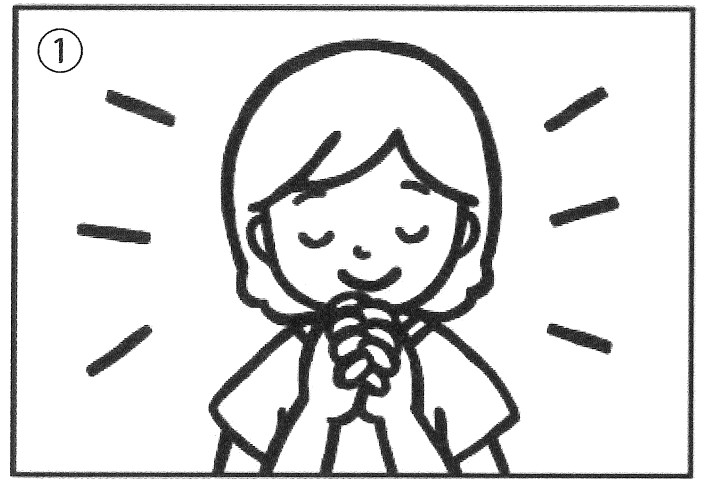
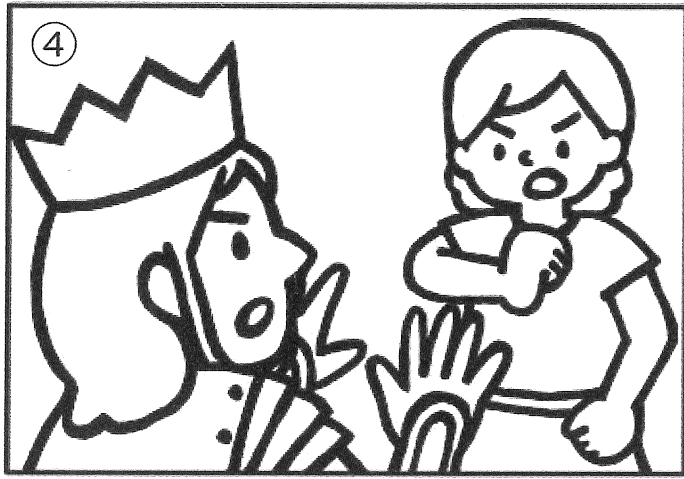
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



5月22日 ダビデの油注ぎ | サムエル16・6～13

1. イスラエルの国で一番最初の王様になった人はサウル王です。
2. サウル王は「神様に聞き従う心」が欠けていました。
3. 神様は新しい王様を選ばれ、サムエルさんをエッサイさんの元に遣わされました。
4. 神様は「彼の容貌や背の高さを見てはならない。…人はうわべを見るが、主は心を見る。」と言われました。
5. 8人目の末っ子のダビデが来た時、神様は「さあ、彼に油を注げ。この者がその人だ。」と言われました。
6. ダビデには、神様をおそれ敬い、聞き従う心がありました。それは何より一番大切なものです。

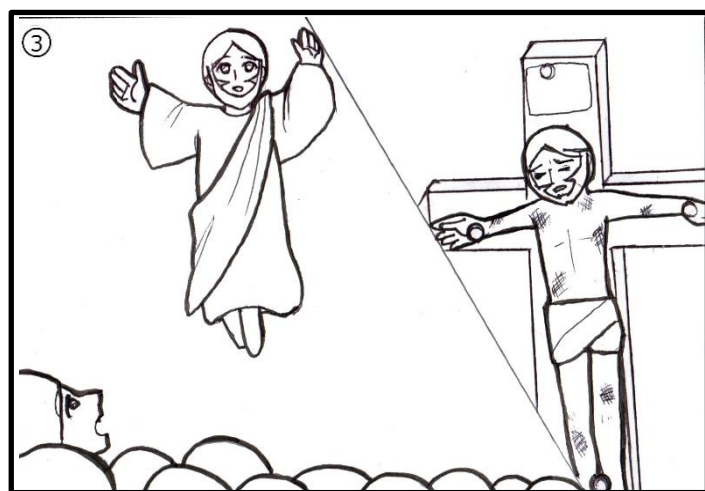
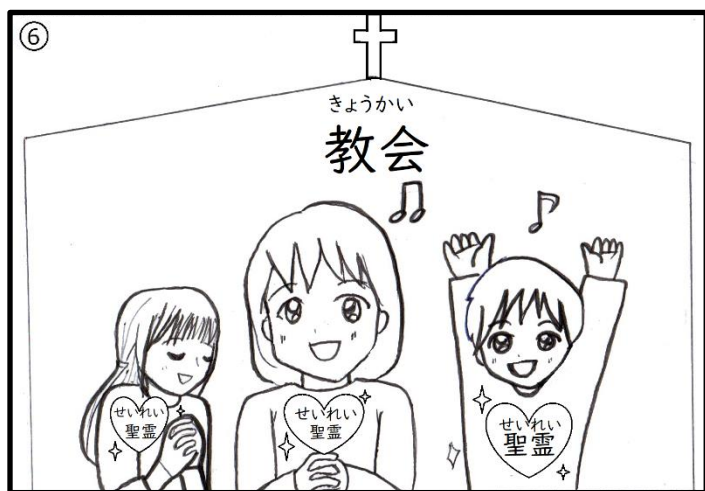
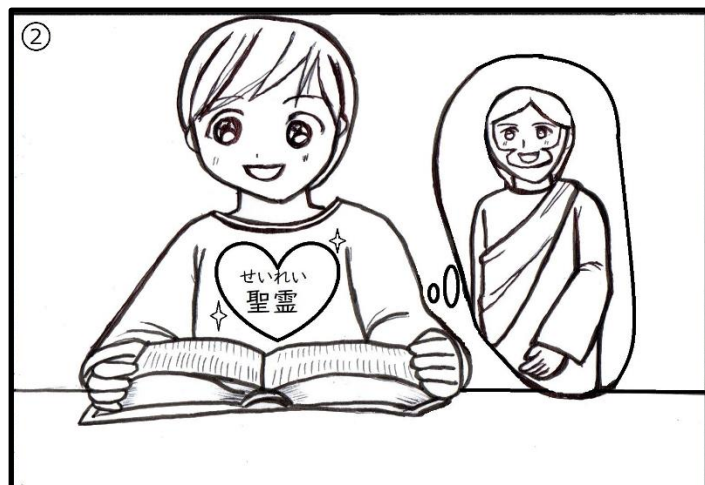
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



5月29日 ダビデとゴリヤテ | サムエル17・31～51

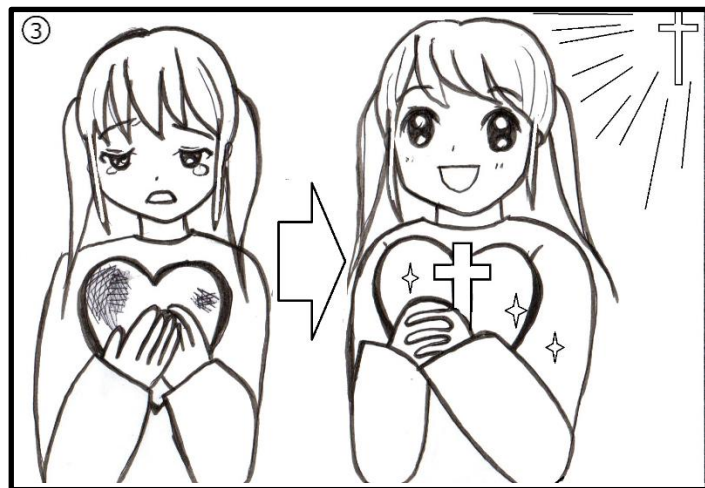
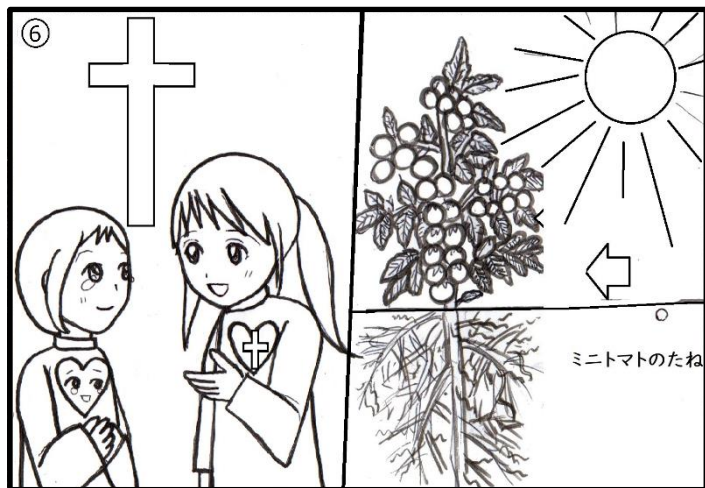
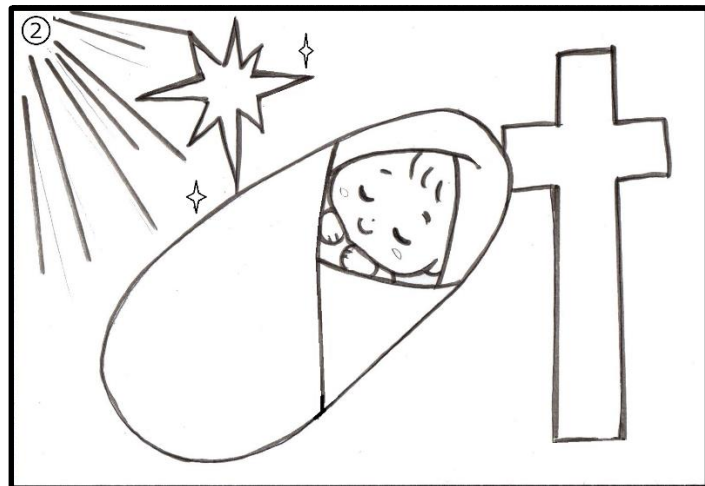
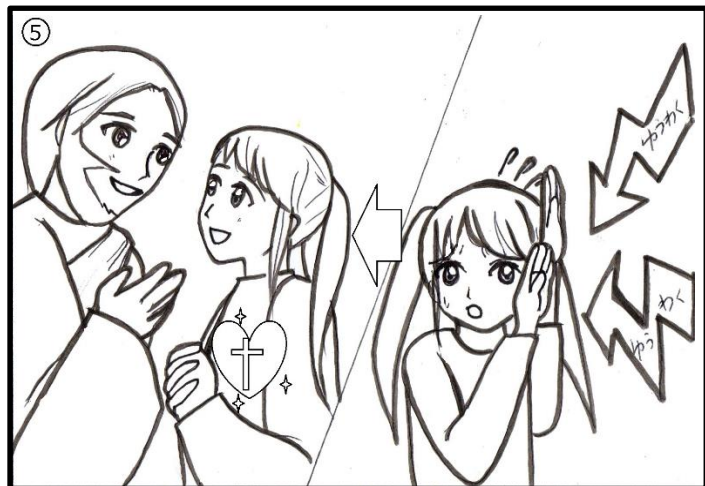
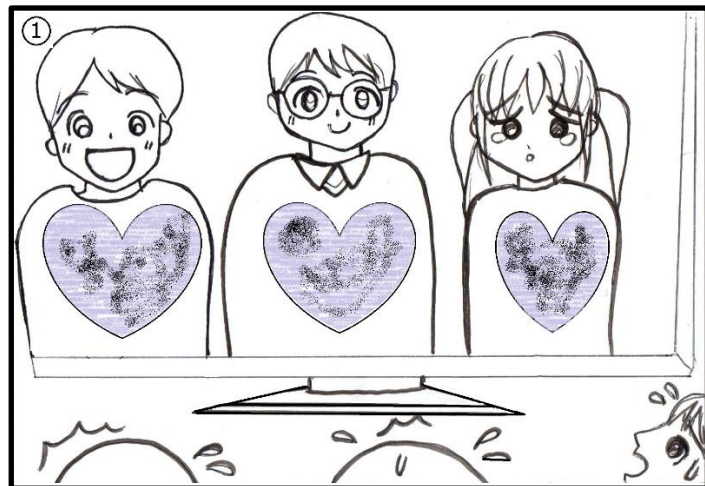
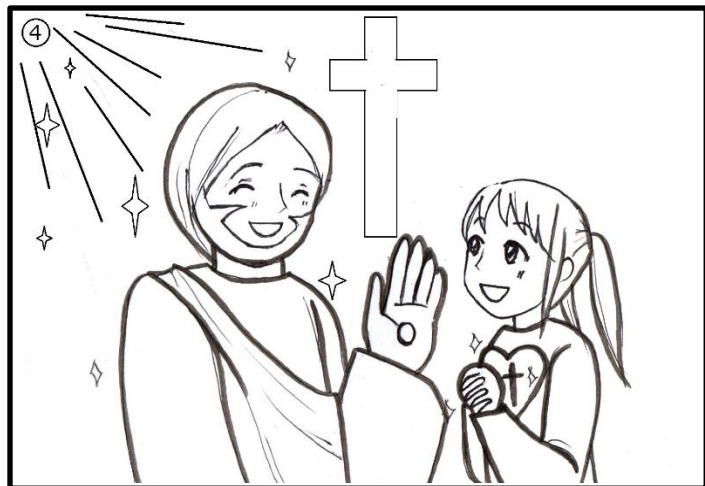
1. ダビデの神様を信じる心は他の兄さんたちや大人たちにも負けない、純粋な信仰でした。
2. ペリシテ人の中のゴリヤテという戦士が、1対1の戦いを挑んできました。
3. イスラエルの中には誰もゴリヤテと戦う勇気のある者はいませんでした。
4. ダビデはサウル王に「このしもべが行って、あのペリシテ人と戦います。」と言いました。
5. ダビデはゴリヤテに言いました。「…剣や槍がなくても、主が救いをもたらすことを知るだろう。この戦いは主の戦いだ。主は、おまえたちをわれわれの手に渡される。」
6. ダビデは「信仰」を最大の武器に、自分に与えられているものを使って、ゴリヤテに勝利しました。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



6月5日 聖霊の働き ヨハネ 16・4b~15

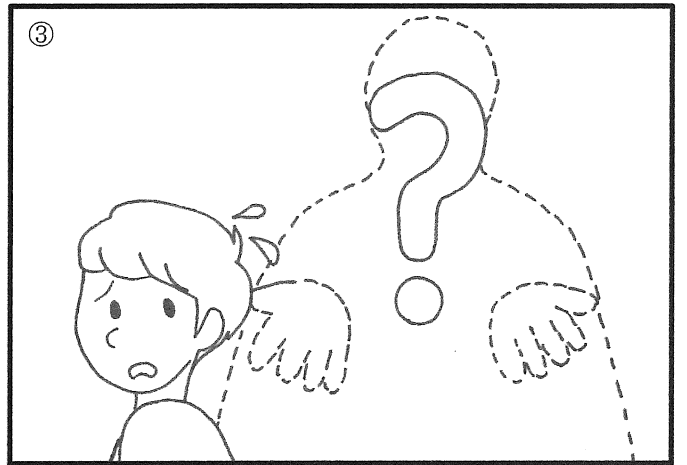
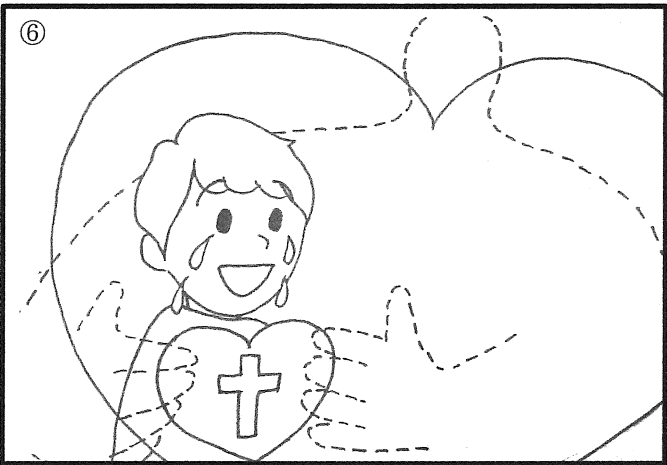
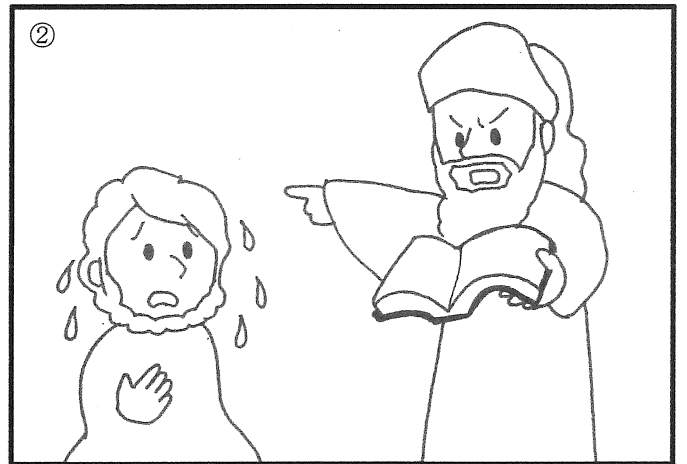
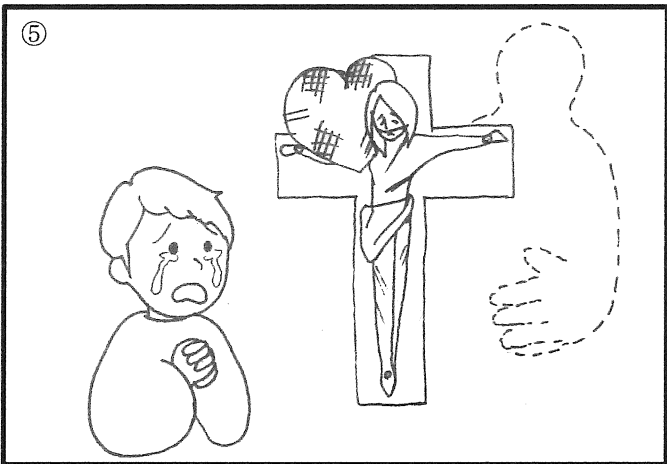
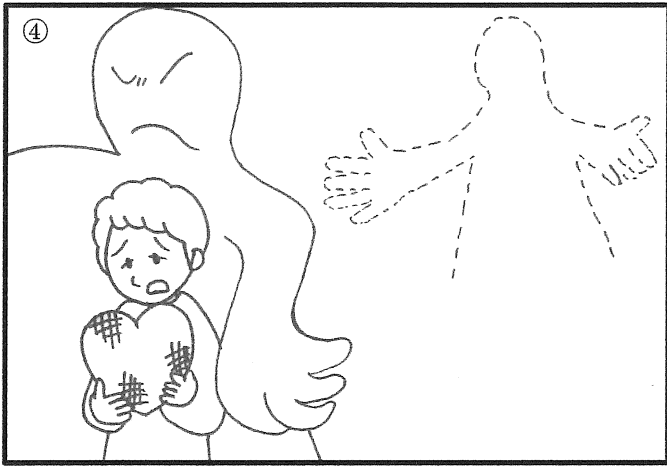
1. イエス様は弟子たちに、これから起こることをどうしても話さなければなりませんでした。
2. イエス様に会えなかった人も、聖霊がいるのでイエス様を知ることができるのです。聖書が分かるようになるのも聖霊の働きです。聖書が分かるようになるとイエス様のことが分かるようになります。わたしたちはだんだんイエス様に影響されて、イエス様に似てきます。
3. イエス様は十字架で死んで復活し、天に昇りました。
4. 弟子たちや仲間たちは、イエス様の約束を信じて、イエス様の代わりに送られる聖霊を待ち望んでお祈りしていました。
5. 使徒たちに聖霊が降り、使徒たちがイエス様のことを証しはじめたのです。こうして聖霊が降ったことをお祝いするのが、今日、ペンテコステです。
6. 使徒たちの証を聞いて、たくさんの人が悔い改め、イエス様を信じる人の集まり、「教会」ができました。聖霊は、イエス様を信じる人たちを結びつけ、一つにします。



6月12日 光の子として歩もう エペソ5・6～14a

1. どんな性格であろうと、どんな人であろうと、心の奥底にはかくれた闇があるのです。イエスさまに出会うまでは…。もし心の中がテレビの映像になってあらわれたら！？
2. イエスさまだけは、人間として生まれましたが、まったく罪のない、暗いところのない、光そのものの方だったのです。神さまがこの世に送られた救い主、神さまの御子だったから！
3. イエス様のまぶしい光に照らされる時、私達は自分の心が本当に暗いことがよくわかります。でもイエスさまの十字架の血によって、私たちの心はきよめられ、暗い所のない光でいっぱい満たされるのです。
4. イエスさまにあってわたしたちもまた光となることができました。
5. 私たちは弱くて、ついつい誘惑に負けてしまいやすい者。だからこそ、いつも私たちのことを想い、愛し、一緒に歩いてくださるイエスさまのことを忘れないことが大切。イエス様が光ですから、イエス様と一緒にいさえすれば、イエスさまが輝いてくださいます。
6. 実を結ぶとは、小さな種のような存在がどんどん成長して、よい実をみのらせること。イエスさまが私達を照らし、私達の光となってくださるから、私達を通して周りの家族やお友だちにもその明るさが広がっていきます。光の子となる鍵は、すべてイエスさまです！

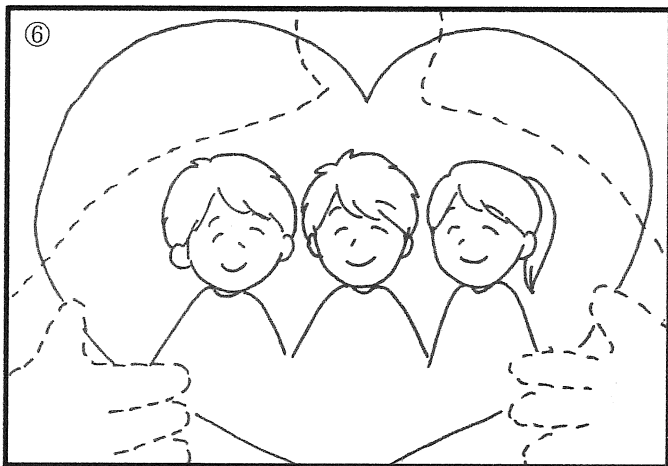
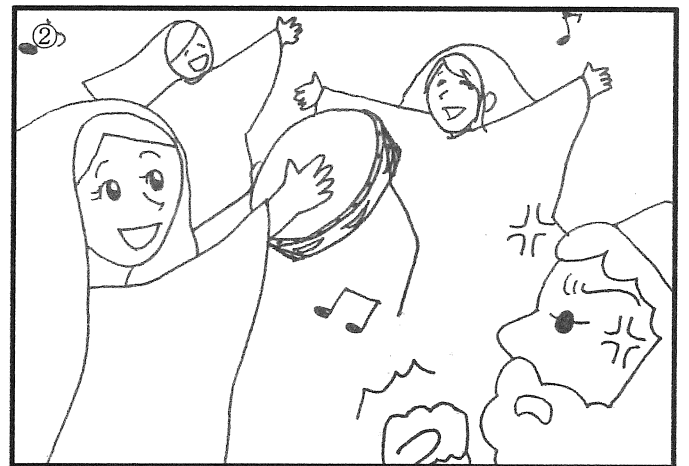
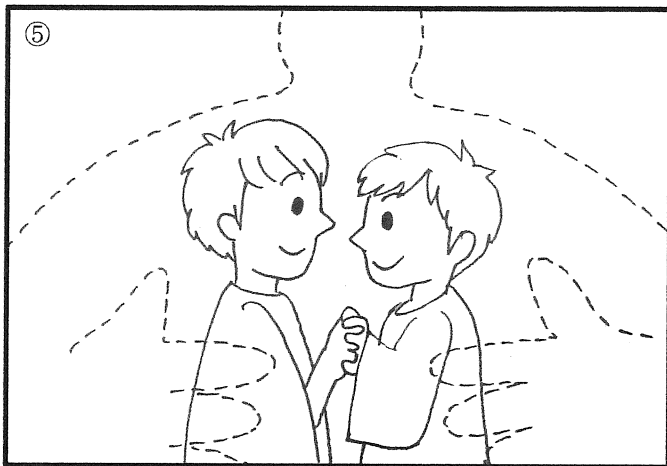
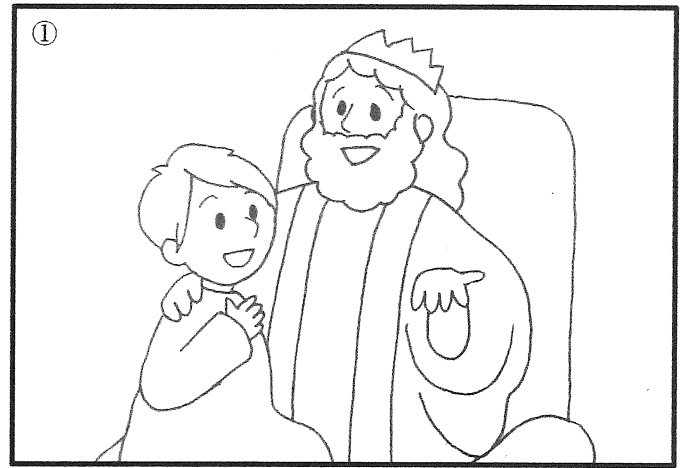
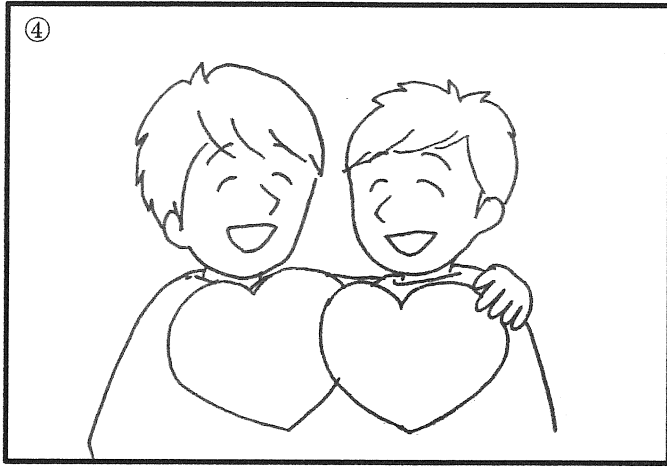
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



6月19日 「神様の子どもとして」 ガラテヤ 4・1～7

1. 奴隷をこきつかう主人。
2. 「神様の言うとおりにしないと罰せられる」と考えている人たち。
3. 神様は厳しいお方??近づいたら危険??
4. 神様に背を向け、罪の中に戻ってしまう。
5. 罪にがんじがらめにならないために罪を引き受けて十字架にかかってくださったイエス様。
6. 「アバ!お父さん!」と呼んでいる男の子。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



6月26日 「愛の契約」 Iサムエル20・18～42

1. ダビデを戦士の長に任命したサウル。
2. ダビデの歌を喜び歌う女性たち。それを聞いて怒るサウル王。
3. ダビデを殺すように命令したサウル王。
4. ヨナタンとダビデ。二人を強く結びつけたものの1つ目は愛です。心と心が結びついている。
5. 二つ目は、主です。二人の友情関係は必ず主が守ってくださり、関係は崩れないと信じていた。
6. 神様と私たちとの愛の契約。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。